「熊本の学び」授業実践の 8 つのチェックリスト（天草版）

番号	観点		チェックリスト		授業参観での気づき	
			子供の姿	✔	良かった点	改善が必要な点
1	日常	学級づくり	互いに失敗や間違いを認めたり、考えの違いを大切にしたりしている。		例　一人一人の良い点や可能性を認め、ほめ、励ます　等	
2	単元	単元ゴールの姿	単元終了時の姿を共有している。		例　どんなことが分かり、できるようになったらいいのか、実生活や次の学びにどう生かすかを具体的にイメージした指導等	
3		全体	「わくわく」等、知的好奇心や興味・関心を高めて学習に取り組んでいる。		例　ゴール後の姿を実現させるための学習課題や学習活動　等	
4	単元や一単位時間	導入	「なぜ」「おそらく」等、疑問を持ったり予想したりして学習に取り組んでいる。		例　言葉かけ、教材提示、学習課題等の問いを引き出す工夫	
5		展開	「やってみよう」「なるほど」「きっと」等、挑戦したり納得したりして学習に取り組んでいる。		例　一人学びの場面と協働解決場面の組立や対話や協働場面での働きかけ　等	
6		終末	「分かった」「できた」「もっとやってみよう」等、実感や達成感を得たり更なる意欲を高めたりして学習に取り組んでいる。		例　「めあて」や「学習評価」との整合性、適用問題の実施　等	
7		基礎基本の確実な定着	自分の習熟度に合った課題などに取り組んでいる。		例　児童生徒の実態を踏まえた個に応じた指導（補充的な学習や発展的な学習など）	
			（指導者が）これまでに何を学んだ・本時は何を学んだ・何が分かったかを確認する場の設定をしている。		例　既習事項の確認・振り返り（本時に活用する既習事項の確認、振り返りの視点）	
8		３つのキーワード	**構想案に位置づけがあり、具体的な取組が見られる。**		自己決定	
					自己存在感	
					共感的人間関係	
※		ＩＣＴの活用	ＩＣＴの活用により、学ぶ意欲が高まったり、学習の理解を深めたりしている。		例　効果的な場面で目的に応じたＩＣＴの活用	
※		板書の工夫	板書を基に学習の流れを振り返っている。		例　学習過程が分かるように整理された板書の工夫	

（　　）月（　　）日（　　）曜日（　　）校時

（　　）年（　　）組　教科等名（　　）

授業者氏名〔　　〕

〈メモ〉

記入者：　氏名〔　　〕